

## 大椎っ子の田んぼ便り～その3：10月22日 脱穀

高崎 みどり (千葉市緑区在住)

いよいよ、ひと月ほど前に刈り取った稲の脱穀です。アリーナで干されていた稲はすっかり乾燥して、お米の重さを感じます。脱穀には昔ながらの“千歯こき”と足踏みの“脱穀機”を使います。本で見たことがある子も少々いましたが、ほとんどの子、いえボランティアの保護者の方々さえも初めてみる機械、みんな興味津々です。千歯こきに稲穂をかけてひっぱると、“パラパラパラ”と、籾(もみ)が取れます。稲穂が多すぎて歯につまったり、反対にスカスカで籾が落ちなかったり。脱穀機は、回り始めた機械の中に稲穂を入れると、おもしろいように籾が取れます。スピードが出過ぎると、手がまきこまれそうでちょっと怖いです



足踏み脱穀機



千歯こき

ね。まだ藁(わら)に残っている籾は手で取り、機械の周りの籾を集めゴミを取り除きます。藁はきれいに束ねなおして、また活用するそうです。脱穀した籾をもみすり機にかけます。あっという間に籾は“玄米”と“もみがら”に分かれました。この玄米を精米したものが、私たちが普段食べている白米です。ようやく！お米に出会えました。田起しから約9ヶ月、長かったような、短かったような。無事に収穫でき、本当に嬉しいです。おいしくいただける日が待ち遠しいですね。

籾すり機



## 脱穀を体験した子どもたちの感想です

ぼくは、稲から籾をとるときに、千歯こきを使いました。稲にのこったもみを手でとる作業がわかり、カヤネズミの巣を見せてもらいました。けっこう小さくて、びっくりしました。そのあとにもみすりをした玄米をもらって食べてみたらおいしかったです。(T.N)

わたしは、初めて脱穀をしました。千歯こきで稲をひっぱる時にすごく力が必要で大変でした。Y.P.Pの方たちやお母さんが教えてくれてできました。残ったお米を一つ一つとる作業はとても細かくて時間がかかりました。でも、このような体験ができてよかったです。(Y.K)

千歯こきか、足踏みだっこくきのどちらでだっこくするかなやんだけど、あぶないときいていただっこくきをえらんだ。足ふみをつい速くしてしまい、少しこわかった。けど、いい体験になったので、よかった。(Y.K)

足ふみだっこくきは、こわそうで心配でした。私は、千歯こきでやったけど、とてもかんたんでした。力を入れて引けばお米がとれて、おもしろかったです。それにみなさんが手伝ってくれて、安心しました。お米も上手にとれてよかったです。(H.U)

ぼくは、だっこくをするのは初めてでした。最初はすごく楽しみでこの日をわくわくしながら待っていました。でも、まちがえてしまったら、指が切れるかもと聞いて、すごくこわくなってしまいました。実際にやってみると、きれいにもみがとれました。何回も何回もやると、ほぼ、とれました。穂に残ったもみを手でとると、きれいにとれました。楽しかったです。(Y.O)

私は、千歯こきを使いました。とても力が必要で、大変でした。穂にのこったお米は手でとりました。ゴミとお米を分ける時に足がチクチクして、かゆくなりました。でも、はじめての経験だったので、よかったです。(Y.Y)

千歯こきは、先がとがっていたので、危険だと思いました。でも足ふみだっこくきの方があぶないと聞いて、千歯こきでだっこくしました。わらはあめばなわになり、米は食べられる、もみからはひりょうになって捨てる場所がないと知りました。(T.T)

千歯こきでのだっこくははやくでき、すごいな～と思いました。きっと自分の作ったお米はおいしいと思うので、味わって時間をかけて、食べたいと思います。(K.S)

わたしは、千歯こぎでもみをとりました。簡単にできるかなと思ったら、そう簡単ではなく、稲が歯に引っかかり、束が細くなってしまいました。でも、あきらめずにがんばってやりました。つぎにもみ集めをしました。そしたら、体中がちくちくしていたかったけど、楽しかったです。(M.M)

わたしは、初めてだっこくをやりました。昔は、あんなにきついことをやっていたなんて、びっくりしました。これができるのは、Y P Pのみなさんのおかげです。ありがとうございます。(K.O)

足ふみだっこくきでだっこくしました。足ふみのテンポがはやかったり、おそくなったりしました。おわたあと、足がまだ上下上下と動いているような気がしました。私はこんな体験をしたことがなかったので、とても楽しかったです。(R.W)

脱こくを手でもやってみてとてもたのしくてきもちよかったです。ぱらぱらと、穂からお米がとぶとおもしろかったです。(R.Y)

僕は10月22日に初めて脱穀をやりました。大変なことや、楽しいことがたくさんありました。とくに楽しかったことは、手でもみをとることでした。本当によい経験をありがとうございました。(T.T)

脱こくをしてみたら、すごくてのしいということがわかりました。てつだっていただきどうもありがとうございました。(R.O)

ぼくは、初めてだっこくをしました。だっこくきでほとんどのもみがとれたかなと思ったけど、あんがい残っていたので、穂には、たくさんのもみがついているんだな~と思いました。(Y.O)

私は、脱穀を千歯こぎや足ふみ脱穀機で経験できたことがとてもうれしかったです。一つの穂にあんなにももみができるのに、日本全国でたべるとすぐになくなってしまいます。でもたのしかったです。Y P Pのみなさんご協力ありがとうございました。(M.I)

わざわざ、ボランティアの人が大椎小の体育館にきてくれたり、てつだってくれたりして、楽しく活動できました。たいせつな思い出です。(E.K)

ぼくは、初めてだっこくをしました。だっこくをする前は、とてもかんたんだと思っていたけれど、やってみるといがいにごく大変で、千歯こぎの刃から稲がなかなかぬけませんでした。稲をひっぱって穂からもみがとれたときは、とてもうれしかったです。最後にゴミともみを分ける作業のときは、ひざをつけていたので、ヒリヒリしました。でもがんばったので、おいしいお米ができるといいです。(T.H)

私は、足ふみだっこく機を使いました。だっこく機は思った以上に足がもっていかれました。でも少しでも気をぬくと、またスピードがおちてしまうので、コントロールが大変でした。さらに、稲を回したりしないといけなかったので、とてもむずかしかったです。(N.Y)

ぼくは千歯こぎをつかってだっこくをしました。千歯こぎをつかったときは穂からもみがあまりとれなかったけど、手でとるほうが、力をいれずにすぐにとれました。(A.A)

千歯こぎでもみをとる時、足を千歯こぎにかけずやったら、ズズズと動いてしまった。足をかけても、足に力を入れすぎて、穂をおもいきりひけず、とてもむずかしかったけど、楽しかった。(Y.S)

私は、初めてだっこくをしました。千歯こぎも見たことがなかったのに、何に使うか、よくわかりませんでした。でも説明を聞いて、かんたんそうだな~と思ったけど、意外にかたくて、力がいりました。でもそうやってお米になり、みんながご飯を食べることができることを知りました。のこったわらでお正月のかざりが作れると聞いて、むだがないな~と思いました。(E.Y)

だっこくをするための機械「千歯こぎ」の発想にはおどろきました。足をかけて、刃と刃の間に稲をはさんでもみをとるなんて、これを考えた人は、とてもかっこいいなと思いました。(Y.H)

ぼくは、だっこく初体験でした。足ふみだっこく機を使う前、「だいいょうぶかな、うまくできるかな」という気持ちでした。でもいざやるときになると、不安な気持ちが逆に楽しい気持ちにかわってきました。そのあとにもみすり機の見学にいきました。そこで金谷さんが玄米をくれました。食べてみるとこぼしいおいしい味でした。(K.E)

今回、初めてだっこくをやりました。私は足ふみだっこく機を使ってだっこくしました。手をはさまないかとても心配でした。でも、ペダルをゆっくりこぎだして、スピードを上げていくのはたのしかったです。Y P Pのみなさんもやさしく教えてくださいましたので、もっとだっこくが楽しくなりました。(M.H)

だっこくはすごく楽しかったです。足ふみだっこく機は、かんたんにだっこくすることができました。手でも楽にとれました。でも、もみをとったあと、もみとゴミとを分ける作業が大変でした。(Y.A)

私は、だっこくをしてみて、楽しかったです。私は千歯こぎでだっこくしました。とてもかたくて力がいりました。でももみがとれた時はうれしかったです。それにきもち良かったです。またやりたいなと思いました。(R.A)

## 谷津田いきもの図鑑 No.23

### カケス

谷津を散策していると林の上の方からジェーツ、ジェーツとにぎやかに聞こえてくるのはカケスの鳴き声です。その声から英語では「ジェイ(Jay)」と呼ばれているカケスはカラスの仲間と聞くと納得してしまいますが、姿はとてもきれいな鳥です。茶色の体に翼にあるブルーの模様がとても目立ちます。ブルーのところはよく見ると黒と白の網目模様になっていて、偶然拾ったカケスのブルーの羽根を見たときは自然の芸術に目を奪われました。頭のごま塩模様はお愛嬌です。カケスは暗い林の中にいることが多いので声は聞けても姿をじっくり観察することはなかなかできません。時折、谷津を横切って鳴きながら林から林に移動する時が観察のチャンスでしょう。カケスはものまね上手でも知られていて、特にワシタカのものまねは絶品。春先の下大和田や小山でサシバの鳴きまね(“ピクィーッ”)にだまされたことが何度かあります。食料のドングリを隠しておくことでも有名ですが、その様子を観察するのは至難の業です。一年中、谷津で見られる野鳥ですが、冬はより暖かい南へ移動するので、夏と冬で個体が入れ替わっているかもしれません。



泉自然公園にて、2007.2/24

(高山邦明)



# 里山たんけんレポート

## 第 105 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2008 年 10 月 5 日(日) 晴れ

オギ、ヨシ、の花穂がなびき、セイタカアワダチソウの花が黄色く色づき、谷津は秋の色に覆われていました。ミゾソバが満開です。コブナグサは早くも紅葉しています。実りの秋、林縁に落ちた栗拾いは子供の頃に戻ったような気持ちになりました。アケビはまだちょっと早く口は開けていませんでした。サンショウの実やスズメウリの実を味わったり、田んぼではヤナギタデ（ホンタデ・マタデ）の葉をかじってみたり、ハッカの香、ショウブの香を楽しんだりしました。虫では、コバネイナゴ、カマキリの仲間、ナガコガネグモ、ジョロウグモ、などが目立ちました。アカトンボの仲間はノシメトンボばかりが目立ち、僅かにナツアカネが見られたくらいでした。アキアカネはどうしたのでしょうか。これから戻ってくるのでしょうか。今日の観察会は、YPP(谷津田プレーランドプロジェクト)の MY 田んぼの稲の脱穀と同時開催となり、双方に分かれて自由に参加していただきました。（参加者 大人 7 名； 報告：網代春男）

## 番外 下大和田 YPP「コシヒカリの脱穀」

2008 年 10 月 5 日(日) 晴れ / くもり

この季節、なかなか良い天気が続いてくれないので、脱穀のタイミングを図るのが難しいのですが、何とか期待どおりのタイミングでコシヒカリの脱穀ができました。いつも脱穀機のトラブルに泣かされるのですが、今回はメンバーがメンテナンスをしっかりとっておいてくれたお陰で、快調にスタート。小さな子どもから中高生、年配の方までたくさんの方も集まってくれたので、イネ運び、脱穀、ワラの片づけが流れ作業でスムーズに進みます。サラサラと乾いた音を立てて籾がどんどん袋を膨らませていき、YPP の田んぼや地元の方のお手伝いをしている田んぼの脱穀を順調に終わらせることができました。収穫量は例年より少なめですが、並んだ籾の袋をみると感慨一入です。お疲れさまでした。かかしづくり、コシヒカリの稲刈り・脱穀とインターネットテレビ「こども放送局」の取材がありました。田植え編に続いて、12 月から放送が始まりますのでお楽しみに。



みんなで作業を分担してどんどん脱穀が進みます

（参加者 大人 18 名、中・高校生 4 名、小学生 4 名、幼児 1 名 報告：高山邦明）

## 第 38 回 小山町 YPP「古代米の稲刈り」

2008 年 10 月 26 日(日) くもり

今年は夏前の天候が思わしくなかったため、生育が気かりだった古代米ですが、夏の暑い日差しを受けてぐんぐん育ってくれました。稲刈りには常連に加え、初参加の方、田植えに参加して稲刈りを楽しみにしていた方も集まってくれてうれしい限りです。まずは畦際を刈ってオダづくり。今年地元の方に教えて頂いた方法で作りました。組み方でワラで竹をしばって作りました。竹を泥にそれほど深く差し込まず、しかもワラで竹を縛るだけでしっかりと組める方法には昔ながらの知恵がいっぱい詰まっているようです（ただ、まだ十分にはコツをつかめていませんが・・・）。米の中心の緑米は生育が例年より遅めで日当たりが悪いところはまだ花を付けていますが、



整然とオダに掛けられた緑米

良く育ったところは株がとて太くて子どもの手ではにぎるのが大変なほどでした。穂が垂れていないところは残して緑米、黒米を刈り終えました。

（参加者 大人 15 名、小学生 5 名、幼児 4 名； 報告：高山邦明）

## < 谷津田・季節のたより >

### 小山町

- 10月4日 イヌショウマが咲き始める。ナガコガネグモに代わってジョロウグモが目立つようになる(高山)
- 10月12日 サラシナショウマが咲く。田んぼでマユタテアカネのペアが産卵(高山)
- 10月19日 ヤクシソウが咲き始める。セミの音が聞こえなくなる(高山)
- 10月29日 カヤネズミの巣に子ネズミがいるのを見つけた(齊藤)
- 11月1日 ジョウビタキの音があちこちから聞こえる(高山)

### 下大和田

- 10月12日 アサギマダラがセイトカアワダチソウで吸蜜。長距離を移動するチョウだが何処で羽化した個体か(網代)
- 10月28日 アオジの音が林縁や葦原の中から聞こえる。ジョウビタキの声もして、いよいよ冬鳥到来。アオサギ、カワセミも姿を見せる(網代)

## イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任をお願いします。

### 番外 下大和田および小山町 YPP「古代米の脱穀」

古代米の脱穀をします。天候次第のため、日程が決まりましたらホームページでお知らせします。

日時: 2008年11月中～下旬

場所: それぞれ千葉市緑区下大和田谷津田 / 千葉市緑区小山町 リンドウ広場

持ち物: 帽子、長靴、軍手、弁当、飲み物、敷物など。

参加費: 無料

主催: ちば環境情報センター

### あすみが丘プラザまつり出展

千葉市緑区の土気・あすみが丘にある公共施設あすみが丘プラザの「プラザまつり」で下大和田や小山町の谷津田でのYPP活動や谷津の自然を紹介する展示をします。田んぼの生きものの展示やクイズもしますのでぜひいらして下さい。

日時: 2008年11月30日(日)10時～15時ごろ

場所: あすみが丘プラザ(千葉市緑区あすみが丘) <http://www.asumigaoka-plaza.jp/>

### 第107回 下大和田12月の谷津田観察会とごみ拾い

谷津の木々は紅葉の季節を迎えています。冬鳥の声も聞けるようになりました。初冬の谷津を散策します。

日時: 2008年12月7日(日)観察10～12時 午後は田んぼの作業など自由活動\*小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田YPPに同じ)

集合: 下大和田YPPに同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 300円(資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

### 下大和田YPP「収穫祭・古代米もちつき」

今年は収穫祭と古代米のもちつきを一緒にして12月21日(日)に開催することになりました。詳細は来月号の谷津田だよりをご覧ください。

**編集後記** 古代米の稲刈りが終わりました。今年は緑米の生育が遅く、10月末でもまだ花が咲いている株がありました。黒米は生育が悪く、背丈が低くて分けつが少ないようです。脱穀が終わったコシヒカリも例年より収穫が大幅に減少でした。振り返ってみると今年は5月に雨がとんでも多く、逆に梅雨時は記録的な少雨、8月は夏らしい夏になって安心したもの、9月は気温がずっと高く下旬はゲリラ豪雨に悩まされました。そして10月は台風が一つも到来せず。こうした異常気象と稲の生育に関係があるのでしょうか。毎年規則正しく繰り返される自然のリズムが崩れると落ち着きません。でも、もっと長い目で見ると時に異常が起きるといのもリズムの一つかもしれません。

(高山邦明)